

(地Ⅲ76)

平成24年8月7日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会
副会長 今 村



厚生労働省における「今夏の熱中症対策の一層の強化について」

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、別添のとおり、厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室より、各都道府県等衛生主管部局宛に、「今夏の熱中症対策の一層の強化について(周知依頼)」の通知がなされ、本会に対しても情報提供がありましたので、参考までにお送りします。

厚生労働省では、小職も委員であります「熱中症対策に関する検討会」において、「医学情報を含めた即時的な患者発生情報の公表および、ソーシャルキャピタルを活用した熱中症予防に関する情報の普及の実施」が提言されており、熱中症予防対策の徹底には、関係部局と連携し、地域住民に身近なソーシャルキャピタルの場である医療機関等の協力を得て、きめ細かな注意喚起を行うことが望まれております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

事務連絡
平成24年7月19日

各

都道府県
保健所設置市
特別区

 衛生主管部局 御中

厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室

今夏の熱中症対策の一層の強化について（周知依頼）

日頃より厚生労働行政の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

気温の高い日が続いており、国民一人一人に対して熱中症予防の普及啓発・注意喚起を行う等、対策に万全を期すことが重要です。

厚生労働省において開催しております「熱中症対策に関する検討会」では、今夏の対策として、「医学情報を含めた即時的な患者発生情報の公表および、ソーシャルキャピタルを活用した熱中症予防に関する情報の普及の実施」が提言されたところです。

これを踏まえ、熱中症予防対策の徹底については、関係部局と連携し、地域住民に身近なソーシャルキャピタルの場である生活衛生同業組合、医療機関、ボランティア団体等の協力を得て、きめ細かな注意喚起を行うようお願いをいたします。

なお、普及啓発の資料として、厚生労働省ホームページに掲載されている「熱中症予防の普及啓発・注意喚起について（周知依頼）」（平成24年5月30日付事務連絡）別添のリーフレット（別添1）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002btf0-att/2r9852000002btgh.pdf>

や熱中症対策に関する検討会の資料

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002f13d.html> の活用をお願いします。

また、7月20日～8月15日の期間において、前日の患者発生情報を厚生労働省ホームページにて公表して参ります（別添2）。貴自治体におかれましては、従来の情報に加えてこの情報も活用し、熱中症対策の充実強化をお願いいたします。

（担当者）

厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 岡田 就将、山本 あや TEL : 03-5253-1111 (内 : 2333、2394) FAX : 03-3502-3090 e-mail : okada-shuushou22@mhlw.go.jp yamamoto-aya@mhlw.go.jp
--

熱中症を防ぐために

～皆さまに取り組んでいただきたいこと～

熱中症の発生は7～8月がピークになります。熱中症を正しく理解し、予防に努めてください。

- 熱中症は、適切な予防をすれば防ぐことができます。
- 熱中症になった場合も、適切な応急処置により救命することができます。
- 一人ひとりが、熱中症予防の正しい知識をもち、自分の体調の変化に気をつけるとともに、周囲の人にも気を配り、予防を呼びかけ合って、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症とは・・・

- 高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり、**筋肉痛**や**大量の発汗**、さらには**吐き気**や**倦怠感**などの症状が現れ、重症になると**意識障害**などが起こります。
- 気温が高い、湿度が高いなどの環境条件と、体調が良くない、暑さに体がまだ慣れていないなどの個人の体調による影響とが重なることにより、熱中症の発生が高まります。
- 屋外で活動しているときだけでなく、室内で特に何もしていなくても熱中症を発症し、救急搬送されたり、死亡する事例が報告されています。

急に暑くなった日は特に注意！

室内にいるときも注意が必要！

熱中症の予防法

熱中症の予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です！

水分・塩分補給

- こまめな水分・塩分の補給
(特に高齢者、障害児・障害者の場合、のどの渇きを感じなくても、こまめな水分補給を)

熱中症になりにくい室内環境

- 扇風機やエアコンを使った温度調整
- 室温が上がりにくい環境の確保 (こまめな換気、遮光カーテン、すだれ、打ち水など)
- こまめな室温確認、WBGT値(※)の把握

※WBGT値: 気温、湿度、輻射(放射)熱から算出される暑さ指数で、熱中症予防のために運動や作業の強度に応じた基準値が定められています。
「環境省熱中症予防情報サイト」で、観測値(全国で8地点)と予想値(全国各地)を閲覧できます。

エアコンを使わずに我慢していると熱中症につながる恐れがあります！

体調に合わせた対策

- こまめな体温測定 (特に体温調節機能が十分でない高齢者、障害児・障害者、子ども)
- 通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用 ● 保冷剤、氷、冷たいタオルなどによる体の冷却

外出時の注意

- 日傘や帽子の着用 ● 日陰の利用、こまめな休憩 ● 通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用 ● 天気の良い日は屋下がりの外出はできるだけ控える

熱中症が疑われる人を見かけたら…

1. **涼しい場所へ避難させる**
2. **衣服を脱がせ、身体を冷やす**
3. **水分・塩分を補給する**

自力で水を飲めない、意識がない場合は、**直ちに救急隊を要請**しましょう！

注意していただきたいこと・お願いしたいこと

①暑さの感じ方は人によって異なります！

- 人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して、暑さに対する抵抗力（感受性）は個人によって異なります。
- 自分の体調の変化に気をつけ、暑さの抵抗力に合わせて、万全の予防を心がけましょう。

②高齢の方は特に注意が必要です！

- 熱中症患者のおよそ半数は高齢者（65歳以上）です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対する体の調節機能も低下しています。
- のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分補給をしたり、暑さを感じなくても扇風機やエアコンを使って温度調整をするように心がけましょう。

③まわりが協力して、熱中症予防を呼びかけ合うことが大切です！

- 一人ひとりが周囲の人に気を配り、熱中症の予防を呼びかけ合うことで、発生を防ぐことができます。
- 特に、熱中症への注意が必要な高齢者、障害児・障害者や子どもについては、周囲が協力して注意深く見守るようにしましょう。

④節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようご注意ください！

- 夏期の電力不足に対して節電の取り組みが求められていますが、節電を意識しすぎるあまり、健康を害することのないようご注意ください。
- 気温や湿度の高い日には、決して無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用するようにしましょう。

熱中症情報に関するホームページ

- 熱中症環境保健マニュアル、熱中症予防リーフレット、予防カード、暑さ指数（WBGT）予報ほか**
 - ◇環境省 熱中症情報 http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/
 - 熱中症予防情報サイト <http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/index.html>
- 天気予報、気象情報、異常天候早期警戒情報ほか**
 - ◇気象庁 熱中症に注意 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>
 - 異常天候早期警戒情報 <http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>
- 健康のために水を飲もう推進運動**
 - ◇厚生労働省 健康のために水を飲もう推進運動 <http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/nomou/>
- 職場における熱中症予防対策**
 - ◇厚生労働省 職場における労働衛生対策 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei02.html>
- 全国における熱中症傷病者救急搬送に関する情報**
 - ◇消防庁 熱中症情報 http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

厚生労働省の取組

ここに掲載します

● 地域の高齢者等に対する熱中症対策の事例について

地域の高齢者や障害者等の支援が必要な方に対する熱中症対策について、各自治体の取組事例を紹介しています。

施策紹介

熱中症関係省庁連絡会議

● 熱中症関係省庁連絡会議

熱中症の予防と応急対策に係る知識の普及、熱中症対策関連情報の周知、地域の実情に応じた対策を推進するため、関係省庁の緊密な連携を確保し、熱中症対策の効率的・効果的な実施方策を検討し、情報交換を行うため、関係省庁で構成する熱中症関係省庁連絡会議を設置しています。

熱中症環境保健マニュアル、熱中症予防リーフレット・カード、暑さ指数(WBGT)予報ほか

政策について

● 分野別の政策一覧

▶ 健康・医療

▶ 健康

▶ 食品

▶ 医療

▶ 医療保険

▶ 医薬品・医療機器

▶ 子ども・子育て

▶ 福祉・介護

▶ 雇用・労働

7月17日0時～24時に報告された熱中症患者数

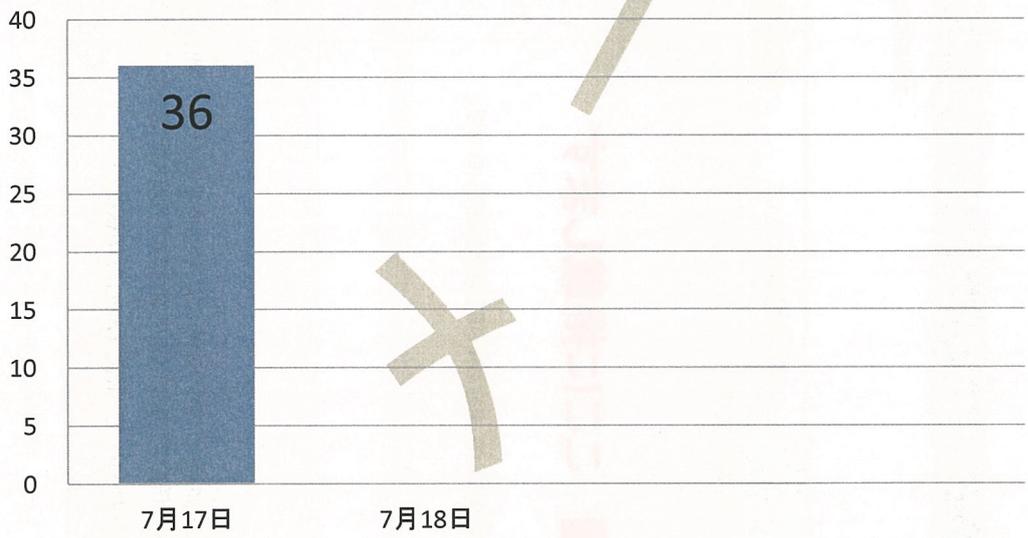
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、厚生労働科学研究費補助金による「効果的な熱中症予防のための医学的情報等の収集・評価体制構築に関する研究」研究班(研究代表者・三宅康史(昭和大学医学部救急医学講座准教授)が、日本救急医学会の協力を得て収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される梅雨明け後の平成24年7月20日～8月15日の間、前日(0時～24時)に報告された患者数等の即時情報を、報告翌日に公表します。(なお、土日曜日は月曜に併せて公表)

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

●研究班では、この夏の即時情報と、10月以降の詳細情報との分析等を通じて、即時情報に基づく注意喚起の実施について研究を行うこととしています。

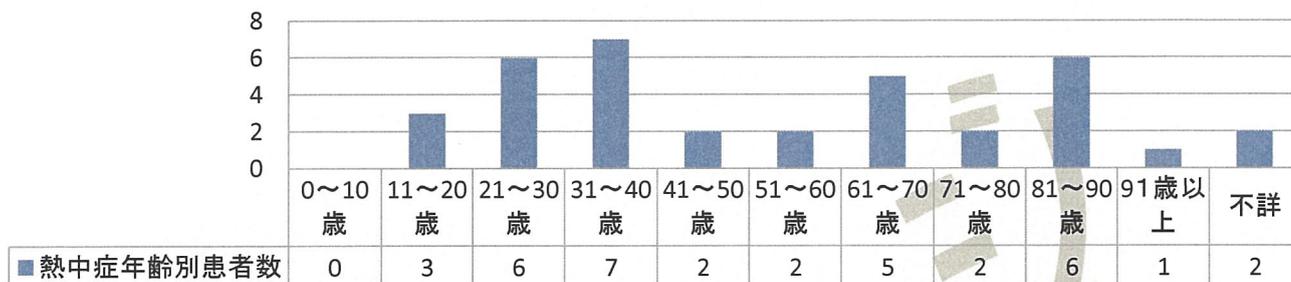
報告された熱中症患者数



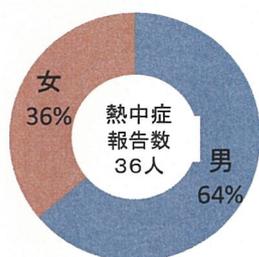
都道府県 医療機関所在地別患者数

〇〇県	〇〇人

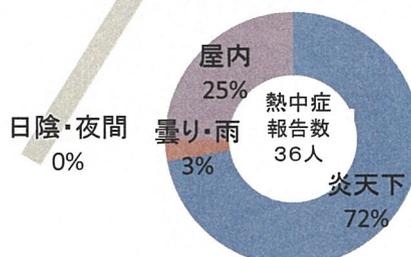
年齢別患者数



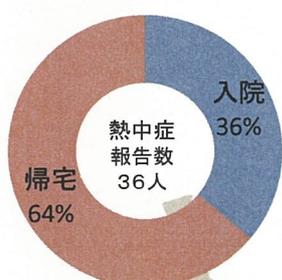
男女別(割合)



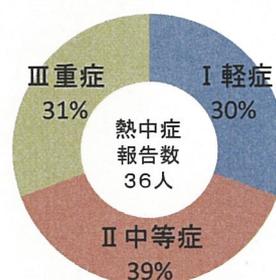
発生場所(割合)



入院／帰宅(割合)



重症度分類(割合)



* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

* 熱中症患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。